

ビジネスにおける権威の3つのP

大手食品会社のゼネラル・ミルズの元役員であるマーク・ベルトン氏がインタビューの際にビジネスステータスの「3つのP」と呼ばれるものについて話しました。それは「特典（Perks）、特権（Privilege）そして権力（Power）」です。彼の見解はとても本質をついていて、私は彼の意見に非常に共感しました。彼のポイントをまとめたいと思います。まずは**特典（Perk）**、つまり地位と業績によって受け取った追加の利益についてです。

若手の銀行員だった頃、私は会社の貸付委員会にあるカントリークラブの融資の申込を提出しました。銀行のCEOは私が持ち込んだこの新しい取引を非常に喜び、銀行が私にこのカントリークラブの会員権を買うべきだと言いました。このことは会社全体に知れ渡り、嫉妬を招きました。その後、私の上司たちが自分たちもクラブの会員権を手に入れられるように交渉したので、もともとは私の「特典」だったものが大幅に変更されてその魅力がなくなっていました。私は機会を見送ることにしました。

ガラテア 5:26では「**うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりするのはやめましょう。**」と警告しています。雇用主として私たちは特定の従業員に与える「特典」について注意する必要があります。それが意図的かどうかにかかわらず、これらはチーム内に嫉妬と確執をもたらす可能性があります。

ベルトン氏が指摘したもう1つのポイントは、リーダーたちが組織の中で昇格するにつれて、その地位はしばしばより多くの**特権（Privilege）**を彼らに与えるということです。それは時間の使い方だったり、社用車の使用だったり、自分だけが影響力のあるリーダーたちと会えるということなどがあるでしょう。

これらの特権は、受け取る個人の自尊心を浮かびあがらせ、それが道徳的倫理的な過ちを犯す発端になる可能性を秘めています。たとえば、特権を維持し追加するために必要なことは何でも実行することができるのです。また、特権のある人にとっての「当たり前」は、他の人にとっては無駄で不必要な贅沢と見なされることもあるでしょう。

聖書では「**高慢には軽蔑が伴い、謙遜には知恵が伴う。（箴言 11:2）**」と教えています。一生懸命に働いた報酬として特権を得ることは素晴らしいことですが、特権に対する自尊心が不名誉なことにつながらないように注意する必要があります。

3つ目のポイントは**権力（Power）**に関することです。権力の乱用はさまざまな形で現れていますが、その一つの例が、長年にわたる労働組合の衰退です。多くの人が組合のリーダーや役員たちが乱用し悪用した権力がその要因の1つだったと考えています。

何年か前に、私の友人が労働組合の会議に出席し、そこでストライキの実施の可能性についての議論があることを期待していました。ある組合員がスト抗議するために立ち上がりました。しかし、彼が一言二言発する前に2人の大男がこの人を会議室から連れ出してしまいました。これによってもう議論は行われなかったことが明らかになりました。

聖書の別の箇所では、この種の仕事上の行動パターンについてどう対処すべきか記されています。「**主を畏れることは、悪を憎むこと。傲慢、驕り、悪の道、暴言をはく口を、わたしは憎む。**」**箴言 8:13**

通常、ビジネスでの成功には権力を増大させる機会も伴います。権力は有益な方法で行使することも、誤った方向に行使することもできます。この誘惑に気づき、権力によって傲り高ぶることがないようにしなければなりません。

もっと深めるために：

1. あなたや組織の中で影響力がある人にどのような「特典＝特別な利益」が提供されましたか？それは適切だと思いますか？それによってよくない影響を及ぼしたことがありますか？どうしたらそれらを回避することができますでしょうか？
2. 職場やそれ以外の環境においてどのように「特権」を行使するのかを見たことがありますか？特定の個人が特権を拡張するメリットは何ですか？繰り返しになりますが、特権を独り占めすることの潜在的な落とし穴は何ですか？どうやって適切に管理すればいいと思いますか？
3. 市場において「権力」はどのように使われていましたか？適切に行使されていましたが？乱用されていましたが？
4. 特典、特権、権力を得られるということは社内の特定の個人が昇進するのに役立つだけでなく、必ずしもこういったメリット受ける資格があるわけではない人の意欲を掻き立て、働きけることができると思いますか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

箴言 3:27-28・箴言 11:25・箴言 22:29・マルコ 10:45・マルコ 12:30-31・ルカ 6:31・ヨハネ 15:13・ピリピ 2:3-4

この発行はリック・ボックスによって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動ではなく、超教派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。